ふれあい

黒沢尻工業高校の生徒さん達がデイサービスにも遊びに来てくれました。利用者の皆さんとレク活動に参加して頂き、楽しい時間を過ごしました。
黒工の皆さんありがとうございました。

更木文化祭

今年も更木地区文化祭に作品を出展しました。
今年のテーマは『オリンピック』

芸術の秋

自分達で作った作品を見学しに行ってきました。
皆さん熱心に見学されていますね～

いつもありがとうございます

Ｒ１．１０月、１１月順不同

〈ボランティア〉
・吉田良子様（書道サークル）、福地実栄様（生け花サークル）
・北上合唱アカデミー様（歌唱サークル）、ＭＯＡ様（生け花サークル）
・更木ボランティアの会様（シーツ交換）
・アロマハンドマッサージ様　・末日聖徒イエスキリスト教会様（シーツ交換）
・黒工ボランティア様（車いす清掃）
・北上和賀ロータリークラブ様（車いす清掃）
・ジャパンセミコンダクター様（シーツ交換）
〈慰問〉
・黒岩小学校　２年３年生（歌・踊り）・よしみとそのいちみ様　（歌・踊り）
・民舞踊江釣子会様（歌・踊り）・リブラ様（オカリナ演奏）

編集後記

冬も本番を迎えました。初雪が降った時には入居者様からは驚きの声が沢山上がりました。
また、年の瀬も近くなり「あっという間だったな」と一年を振り返る入居者様も…。
インフルエンザが流行ってきました。注意して過ごしたいですね。
（伊藤）

広報　オアシス

心温まるケアを目指して

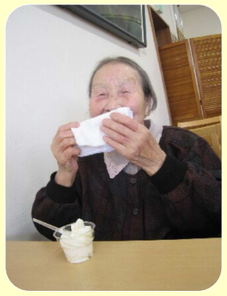
八天の里

発行
北上市更木３４－３２０－１
特別養護老人ホーム八天の里
八天の里デイサービスセンター
TEL0197-66-6500
八天の里在宅介護支援センター
TEL0197-66-6000　FAX0197-66-6200
グループホームさらき
TEL0197-66-6512　FAX0197-66-6516

デイサービス　ランチ会

今年もさらきの里へ昼食を食べに行ってきました。ご自分で食べたいメニューを選び、皆さん残さず完食されていました。
どの利用者様も笑顔で「美味しかった～」と 満足げに話されていました。

食事のあとは
デザートのアイスクリーム



もくじ

1面：「ランチ会」
2面：「りんご狩り」「芋が芋づるだぁ」「干し柿作り」「ただいま～」
3面：「黒岩小学校慰問」「避難訓練」「文化祭作品出品展」
「八天菜園」
4面･5面：「故　澤藤 修三　初代八天の里園長　追悼　特集」
6面：「ふれあい」「更木文化祭」「芸術の秋」
「いつもありがとうございます」「編集後記」

黒岩小学校　慰問

11月19日　黒岩小学校の２年３年の児童が慰問に来てくれました。
八天の里と関わりのある児童もおり、御縁の深さを感じます。
入居者からは「また、来てね～」と声がかかり、来年の慰問の約束をしました。

避難訓練　ホーム

11月21日　北上消防署の立ち会いの下「夜間想定避難訓練」を行いました。
職員も入居者も真剣そのもの！！訓練と言えども全員無事に避難できて一安心です。

更木文化祭　作品出展　ホーム

今年は、書道サークルの作品と共同作品を２作品、個人の作品１点を出展しました。地域の方に施設の活動を見ていただきました。

今年の八天菜園では、６種類の野菜を育てました。最後に収穫したのは「さつま芋」あまりの大きさにみんなビックリ！！　さつま芋は炭火で焼き芋に。先に収穫していたかぼちゃはお菓子にして、季節を感じながら味わいました。来年は何を植えましょう♪

りんご狩り

ホーム・グループホーム

１０月１６日、黒沢尻工業高校の保健委員会の生徒さんに手伝ってもらい、近くにある八重樫勝利さんのりんご園でりんご狩りをしてきました。台風の影響もあり足場の悪い中でしたが、真っ赤なりんごに「あら～っ」と歓声が上がり皆さん大喜び！！八重樫勝利さんと奥様にりんごの採り方を教えてもらい、丁寧に収穫しました。

りんご狩りの後ホームでは、恒例の「芋の子汁作り」　出来上がった芋の子汁は、みんなで美味しく頂きました。

芋が芋づるだぁ！

グループホーム

十月十日春に植えたサツマ芋をみんなで掘ってみると…。おいしそうに実ったサツマ芋が次から次へと出てくる出てくる。汗を拭きながら収穫したサツマ芋はやっぱり焼き芋にして食べました！

「うんめがったよ～」

干し柿作り

グループホーム

柿の皮むきを一生懸命してもらいました。
（皮むきをしたのは、１人だけではありません…）
今はベランダの軒先にぶら下がっています。
毎日 柿を眺めながら食べ頃を探しています。

ただいま～

グループホーム

１０月２０日更木文化祭と黒岩　芸・農まつりを見学してきました。

更木地区と黒岩地区出身の入居者が見学。多くの知人に声をかけていただき、楽しい時間となりました。

第212号　令和元年12月10日

故 澤藤 修三 追悼 特集

初代 八天の里園長

九月八日に 亡くなられた澤藤修三様には、社会福祉法人博愛会 及び 八天の里・エスカールの立ち上げに多大なるご尽力を頂きました。その功績に接し、今回の広報で特集記事にすることとしました。

澤藤様のご冥福を心よりお祈りいたします

八天の里園長澤藤修三様を偲んで

想い起こせば、私が平成元年初頭、特別養護老人ホームの建設を夢見て模索を始め、故盛合長之助さんを始め七人の有志と共に北上市当局に要望書を提出させていただき、三年超しの願いが実を結び、北上市の老人福祉計画の一環として、市内で三つ目の特別養護老人ホームの整備計画を盛り込んでいただいたのでした。

これを受け、平成四年に北上市当局と具体的な協議に入り、法人格取得、そして施設の建設に向けて人材の確保に取り組みました。

そうした中で、市当局から公職を退職されていた澤藤修三さんと菅原勘二さんをご推薦していただきました。

私よりも一回りも先輩の方々でしたが、温厚で誠実なお二人は、若輩者の私を盛り立てて下さり、整備計画の準備室の開設とともに日夜を問わず、市民待望の特別養護老人ホームの建設に向けて取り組んでいただきました。

平成五年五月二十八日に社会福祉法人博愛会の設立認可を頂き、平成六年四月一日に市内三カ所目の特別養護老人ホーム八天の里として開所し、同年六月五日に第一号の入居者をお迎えすることが出来ました。澤藤さんを始め、博愛会の役職員の強い団結と地域の方々の、ご理解と御協力の賜物と心から感謝しております。

その中でも、澤藤さんと特別養護老人ホームの誕生を夢見る有志七人の方々との素晴らしい連携の構築は、目を見張るものがありました。

法人格の取得、施設の建設と、慌ただしい毎日の中で、何度も澤藤さんのご自宅を予告無しに訪問させていただき、奥様に大変ご迷惑をお掛けしたことが思いおこされます。

澤藤さんの健康で精力的なお仕事の源は、奥様のご理解とご協力があったればこそのことと心から感謝申し上げます。

さらに、地域に根差した心温まるケアを目指す後継者の育成にも、多大なるご尽力をいただきました。

澤藤さんの片腕として信頼され、博愛会の様々な事業にその手腕を遺憾なく発揮して下さった及川誠、伊藤絹子元園長はもちろんのこと現職の八天の里高橋智子園長、浮牛の里鹿俣達也園長、エスカール福地弘園長、そして及川江美子事務局長をはじめ多くの職員の成長は貴方のご指導の賜物です。

令和元年の今、彼らは澤藤さんが博愛会の創設に取り組んでくださった年齢にさしかかっており、貴方の思いを一身に受け、当法人の運営に精魂込めて努力しております。

施設の整備は八天の里にとどまらず軽費老人ホーム「エスカール」の開設にも携わっていただきました。

忙しい毎日が続き健康を害されないかと心配しながら、私も診療に精を出させていただいておりました。

安心して福祉施設の運営をお願いできたのは澤藤さんの懇切丁寧なお仕事ぶりと温厚なお人柄によるものと感謝しております。

平成十五年六月三十日に後任の及川誠君に博愛会への思いを託し園長の職を辞され、平成二十七年五月三十日にはご高齢を理由に役職も退職されご自宅で奥様を始めご家族の皆様と穏やかにお過ごしでした。

私達役職員は澤藤さんの教えを糧としてこれからも地域に根差した介護サービスの提供に尽力して参ります。どうぞ温かくお守り下さい。

（弔辞より）

社会福祉法人博愛会
理事長　及川　優

平成７年　敬老会にてあいさつする澤藤園長

平成１１年　研修旅行にて

安心感を与えてくれた澤藤園長

真面目で温厚な澤藤園長、存在そのものが私達に安心感を与えて下さいました。八天の里の礎を築き、地域との繋がりを大切にされていました。今でも地域の行事等には声をかけていただき地域に根ざした施設となっています。

退職後も、施設の行事には積極的に参加して頂き「八天の里」への思いの深さを感じました。

ありがとうございました。心よりご冥福をお祈り致します。

八天の里 園長　高橋　智子

法令遵守の澤藤園長

バイク通勤だった澤藤園長、法定速度をきっちり守り、四十km制限の所は四十km、五十km制限の所は五十km走行。後ろを走る職員に法令遵守の大切さを、身をもって教えて下さいました。私も浮牛の里の看板背負う施設長になってみて、決して事故を起こしてはならない責任を感じております。今となって、澤藤園長の気持ちが良く分かります。本当にありがとうございました。

心からご冥福をお祈り致します。

浮牛の里 園長　鹿俣　達也

話しかけやすく穏やかな澤藤園長

心温まるケアをめざして」をモットーに、福祉サービスの向上・改善、介護技術の向上にご指導頂いた事は、今後も受け継がれていきます。

真面目でしたが、話しかけやすい穏やかな澤藤園長でした。数ある行事の中で、澤藤園長が入居者の皆さんと「うなぎ」を焼いている姿は微笑ましくなります。

ご冥福をお祈り致します。

エスカール 園長　福地　弘

事務の基本を教えてくれた澤藤園長

開設当初、職員は何もかもが初めての事だらけで、地域や行政との関わりを手探りで進んでいました。

澤藤園長は規則規程に基づく事の大切さ、事務についての　基本的な事を沢山教えて下さいました。本当にお世話になりました。

遠くから博愛会を見守って下さることをお願いすると共にご冥福をお祈り致します。

法人本部 事務局長　及川　江美子